



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 憲高

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理部長 (氏名) 大西 芳太郎 TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,883	8.4	207	65.8	234	62.6	161	63.1
2023年3月期第2四半期	8,606	1.8	608	53.3	626	51.5	437	51.3

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 167百万円 (61.6%) 2023年3月期第2四半期 436百万円 (51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	66.15	
2023年3月期第2四半期	179.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,712	9,438	64.2
2023年3月期	13,953	9,408	67.4

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 9,438百万円 2023年3月期 9,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		60.00		60.00	120.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				30.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,100	1.1	470	41.5	480	39.4	320	33.6	130.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,605,900 株	2023年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	162,711 株	2023年3月期	165,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,441,503 株	2023年3月期2Q	2,440,363 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載の通りです。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の正常化が進み、インバウンドの増加に伴う人流の回復もあって緩やかに回復の動きがみられました。一方、世界的な物価上昇と欧米の金融引き締めによる金利の高止まり、国内では原材料やエネルギー価格の高騰と円安に伴う国内物価の上昇が消費に影響を及ぼしており、加えて中国経済の先行き懸念、国際紛争の拡大など、依然として国内外の景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、2022年4月よりスタートした「グループ力を発揮し、持続可能な事業の成長に向けて、チャレンジし続ける Challenge for Sustainable Growth」をスローガンとする3カ年の中期経営計画において、「グループ連携の強化」、「収益力の改善」、「新たな価値を生み出す事業の創出」、「魅力ある会社づくり」という基本方針のもと、高付加価値製品の生産能力の拡充、オープンイノベーション推進による新規事業創出、車載向け製品の取り組み強化、デジタル化による業務プロセスの効率化、サステナビリティ事業への取り組み、多様な人材が活躍できる環境づくり、SDGs活動の推進などに取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期の売上高は前年同期比722百万円減収(8.4%減収)の7,833百万円、営業利益は同400百万円減益(65.8%減益)の207百万円、経常利益は同391百万円減益(62.6%減益)の234百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同275百万円減益(63.1%減益)の161百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、当第2四半期においては、小幅な上下動を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移しました。平均価格は、トン当たり約11,970ドルとなり、前年同期比12.1%の下落となりました。円建てでは同7.6%の下落となりました。

同事業の主製品である三酸化アンチモンには様々な用途があります。主たる用途は、プラスチック材料の難燃剤です。プラスチックは、自動車、家電、産業機械、住宅などに用いられる電化製品の電気絶縁材料として広く用いられていますが、一般に燃えやすい性質を持っています。そのようなプラスチックにハロゲン系難燃剤と共に三酸化アンチモンを添加することで、高い難燃性を付与して電気機器の短絡や劣化による発火のリスクを減らし、火災による人的被害や経済的損失を防止することに大きく貢献しています。

同事業の販売状況につきましては、自動車分野は緩やかに回復する一方、家電分野などは回復が遅れています。また、製造業全般の生産部品などについては顧客の在庫調整が続いており、販売数量は前年同期比483トン減少(17.1%減少)の2,350トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の下落により、前年同期比780百万円減収(15.4%減収)の4,279百万円となりました。セグメント利益は、同322百万円減益(70.3%減益)の136百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第2四半期平均でトン当たり約1,241千円となり、前年同期比3.0%の上昇となりました。

同事業の主製品は、電子部品の導電材料向け銅およびその他の金属粉末、パワーインダクタ向けの鉄系合金粉、自動車部品や産業機械部品などの粉末冶金製品向けの焼結材料としての金属粉末で、各種製品の高機能化や利便性に貢献しています。

また、DXの推進、IoTやAIの活用、5G対応端末の普及、自動車のEV化やエレクトロニクス化の流れなどを背景に電子部品のニーズは高まっています。

電子部品向け金属粉末の販売状況につきましては、巣ごもり需要が一巡すると共に、その反動減や買い替え周期の伸び、また物価上昇の影響で低価格帯を中心にスマートフォンやパソコン市場が縮小し、販売数量は前年同期比104トン減少(20.3%減少)の410トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉末の販売状況につきましては、自動車分野での生産回復が見られたものの、引き続き在庫調整の影響により、販売数量は前年同期比125トン減少(18.4%減少)の554トンとなりました。

全体の販売数量は前年同期比229トン減少(19.2%減少)の963トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、比較的販売単価の高い鋼種の販売が伸びたことにより、前年同期比58百万円増収(1.6%増収)の3,588百万円となりました。セグメント利益は、操業度低下や電力料金高騰によるコスト増加の影響で同81百万円減益(61.7%減益)の50百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業等の当第2四半期の売上高は15百万円、セグメント利益は10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比758百万円増加の14,712百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比283百万円増加の9,112百万円となりました。これは主に現金及び預金が217百万円、受取手形及び売掛金が339百万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が93百万円、その他が198百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比474百万円増加の5,599百万円となりました。これは主に有形固定資産が473百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期末の負債合計は、前連結会計年度末比728百万円増加の5,273百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比277百万円増加の3,744百万円となりました。これは主にその他が202百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が401百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比451百万円増加の1,529百万円となりました。これは主に長期借入金が479百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末比29百万円増加の9,438百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により161百万円増加したこと及び配当により146百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,276,200	2,493,683
受取手形及び売掛金	2,539,247	2,879,185
商品及び製品	1,815,975	1,839,269
仕掛品	322,846	317,857
原材料及び貯蔵品	1,566,420	1,473,095
その他	316,914	118,385
貸倒引当金	△8,521	△8,705
流動資産合計	8,829,084	9,112,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,717,767	1,675,221
機械装置及び運搬具(純額)	781,691	749,329
土地	1,436,191	1,436,191
その他(純額)	625,909	1,174,362
有形固定資産合計	4,561,560	5,035,104
無形固定資産	149,773	151,985
投資その他の資産	413,505	412,255
固定資産合計	5,124,839	5,599,345
資産合計	13,953,923	14,712,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	954,696	1,355,966
電子記録債務	206,838	246,769
短期借入金	1,445,200	1,484,600
未払法人税等	75,782	81,419
賞与引当金	161,545	154,890
その他	623,264	420,733
流動負債合計	3,467,328	3,744,379
固定負債		
長期借入金	287,700	767,200
退職給付に係る負債	350,770	342,902
資産除去債務	37,607	37,775
その他	401,646	381,728
固定負債合計	1,077,724	1,529,605
負債合計	4,545,052	5,273,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	570,142
利益剰余金	7,942,134	7,957,218
自己株式	△154,242	△151,653
株主資本合計	9,370,743	9,393,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,567	31,008
為替換算調整勘定	10,560	13,287
その他の包括利益累計額合計	38,127	44,295
純資産合計	9,408,871	9,438,129
負債純資産合計	13,953,923	14,712,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,606,532	7,883,937
売上原価	7,447,212	7,125,078
売上総利益	1,159,319	758,858
販売費及び一般管理費	550,518	550,938
営業利益	608,801	207,919
営業外収益		
受取配当金	2,258	2,136
為替差益	22,632	23,303
その他	7,271	19,689
営業外収益合計	32,162	45,129
営業外費用		
支払利息	9,084	9,178
休止鉱山費用	5,075	8,343
その他	697	1,302
営業外費用合計	14,856	18,824
経常利益	626,107	234,224
特別損失		
固定資産除却損	828	11,760
特別損失合計	828	11,760
税金等調整前四半期純利益	625,279	222,464
法人税、住民税及び事業税	172,797	63,315
法人税等調整額	15,309	△2,356
法人税等合計	188,107	60,959
四半期純利益	437,171	161,505
親会社株主に帰属する四半期純利益	437,171	161,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	437,171	161,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,620	3,441
為替換算調整勘定	7,354	2,726
その他の包括利益合計	△265	6,167
四半期包括利益	436,906	167,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436,906	167,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,060,055	3,530,690	8,590,746	15,786	8,606,532	—	8,606,532
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	41,425	41,425	751	42,176	△42,176	—
計	5,060,055	3,572,115	8,632,171	16,537	8,648,709	△42,176	8,606,532
セグメント利益	459,219	132,462	591,681	11,249	602,931	5,870	608,801

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額5,870千円はセグメント間取引の消去5,870千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,279,398	3,588,762	7,868,161	15,776	7,883,937	—	7,883,937
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	26,372	26,372	771	27,143	△27,143	—
計	4,279,398	3,615,135	7,894,533	16,547	7,911,080	△27,143	7,883,937
セグメント利益	136,576	50,786	187,363	10,967	198,330	9,588	207,919

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額9,588千円はセグメント間取引の消去9,588千円であります。